

むらまち通信

第164号

2015年3月8日 発行



「スノーシューツアー in 八剣山」を実施しました。



○ 実施状況

- ・ 日 時：平成27年3月7日（土）10:00～12:00
- ・ 場 所：ピアンカハウス → 八剣山の南山麓 → 西側丘陵
→ 八剣山ワイナリー農場 → 八剣山果樹園農地
→ ワイルド・ムスタグス牧場 → ピアンカウス
- ・ 主 催：八剣山発見隊・簾舞まちづくり協議会
- ・ 参 加 者：20人

1月の豊平川コース、2月の小金湯コースに続いて、3月は八剣山のふもとをスノーシューで散策しました。八剣山周辺の積雪は例年よりも多く1.3メートルにも達していますが、3月に入り気温が高くなってきたことから雪の表面は融けてザラメ状になってきています。

今回は簾舞まちづくり協議会と八剣山発見隊の共催で実施したことから今まで最高の20人が参加しました。このため、10人ずつの2班に分かれて実施したところです。

ときどき雪が降って風も吹きましたが、雲間から薄日が差し込むなど変化に富んだ天候でした。ピアンカハウスの前で簡単なエコの取組みについて説明を受けてから出発しました。

今回のツアーでは事前調査を行った時に、ルート上の主な箇所の小枝に赤い布テープを巻いて目印を付けたことから、わかりやすくスムーズに進行することができました。

八剣山の南側に広がる樹林帯の中を2班に分かれ、スノーシューを履いて歩きました。少し歩くと雪面のあちこちにキツネやウサギの足跡が見られたほか、2～3センチの松ぼっくりの実がばらまいたように雪面から顔を出していました。

参加者の皆さんは、林の中で時々立ち止まって上空を見上げたり雪面に仰向けで寝転がりながら、木々の間から差ししてくる木もれ日を浴びたり、木の枝の間を飛び回るヤマガラやゴジュウカラなどの鳴き声に聞き耳を立てていました。

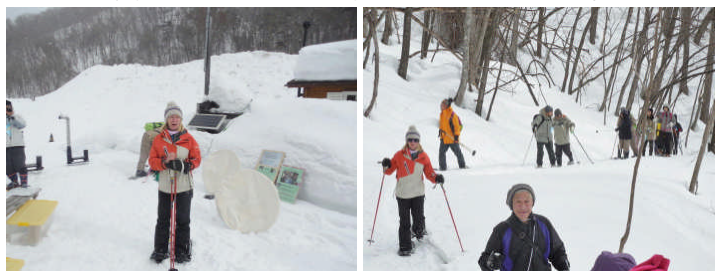
雪に埋まっていた崖下を流れる小川でも、ところどころで雪が融けはじめ、水面が木もれ日で輝くとともにチョロチョロ流れはじめていました。また、ネコヤナギが柔らかい穂を出しはじめ、あちこちで春の息吹を感じさせてくれました。

およそ2.5キロ、1時間半の楽しいツアーでした。



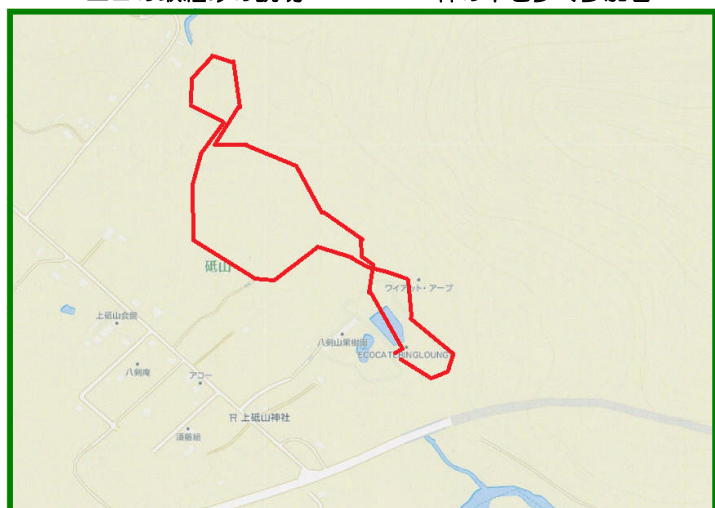
聞こえてきた春の息吹

枝に止まっていたウソ



エコの取組みの説明

林の中を歩く参加者



八剣山をバックに記念撮影

発行：塚本むらまち計画研究室
主宰 塚本 保弘

061-1276
北広島市大曲緑ヶ丘6丁目10-10
携帯電話：090-7515-7057
E-mail：thuka@rose.ocn.ne.jp